

加藤歯科における メンテナンスの治療実績

加藤歯科では2010年3月から2012年2月末までの2年間に来院されメンテナンスを受けた患者さん（成人282名、未成年380名）を調査し、歯周病の初期治療や継続的メンテナンスが患者さんのお口の健康にどのように効果をあげているか調べました。

①歯周病の初期治療の効果

お口の中の磨き残しが減りました

歯ぐきからの出血が減りました

②歯周病メンテナンスの効果

歯を失う本数が減りました

③子供のメンテナンスによるむし歯予防効果

虫歯の本数が減りました

* 「メンテナンス」「初期治療」の用語解説があります。→[用語解説はこちら](#)

用語解説

「メンテナンス」とは

口腔内に不具合がなくても、歯科医院で歯磨き指導、クリーニング、フッ素塗布、かみ合わせの診査を受けることです。

「初期治療」とは

歯周病の治療法における初期治療は、プラーク（磨き残し）、歯石等を除去し、歯周病菌を減少させることが目的です。

その他に、歯に障害を与えている悪いかみ合わせ（外傷性咬合）を取り除くことも初期治療に含まれます。

①歯周病の初期治療の効果

お口の中の磨き残しが減りました

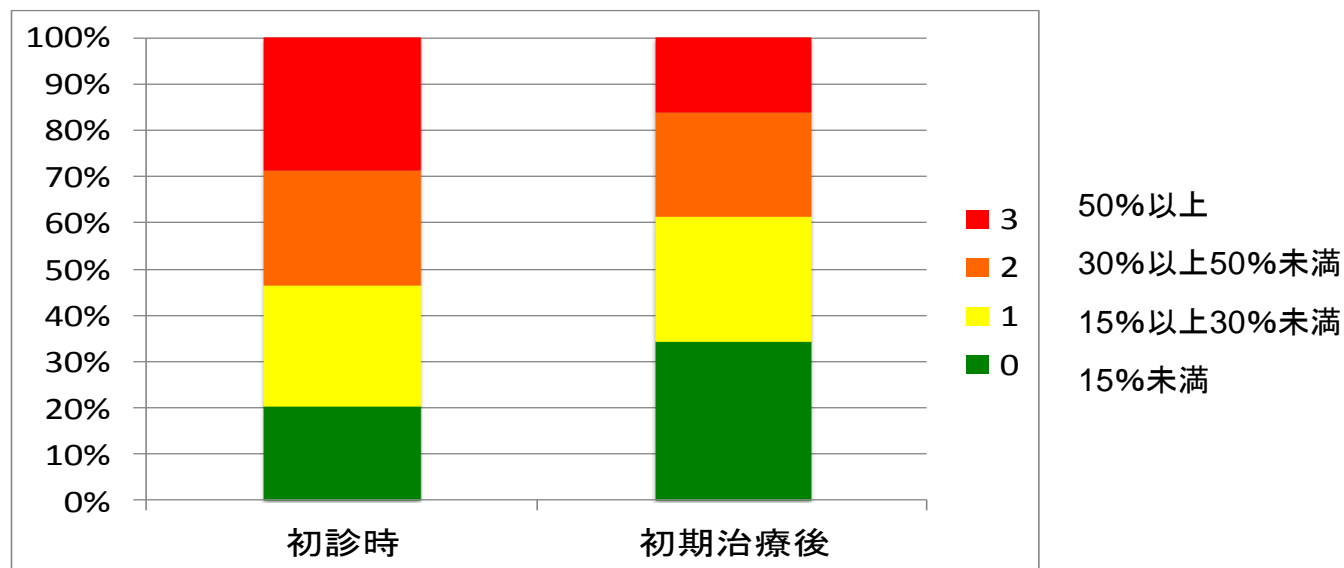
加藤歯科に来院の患者さんで、歯周病の初期治療を受けた方のお口の中の磨き残し（プラーク）の量をしらべました。

スコア0が最も良く磨けており、スコア3が磨けていない状態を示します。

初診時（治療開始前）に比べて、歯周病の初期治療を行い歯科衛生士から歯磨きの指導を受けることにより、スコア0の人の割合が増え、スコア3の人が減りました。

歯石がついている部位はざらざらしているのでプラークが付着しやすい状態です。初期治療により歯石を取り除き、さらに患者さんに合った歯の磨き方を歯科衛生士からアドバイスしてもらうことで確実な治療効果が得られている事がわかりました。

プラーク（磨き残し）の量



* 「初期治療」の用語解説があります。→[用語解説はこちら](#)

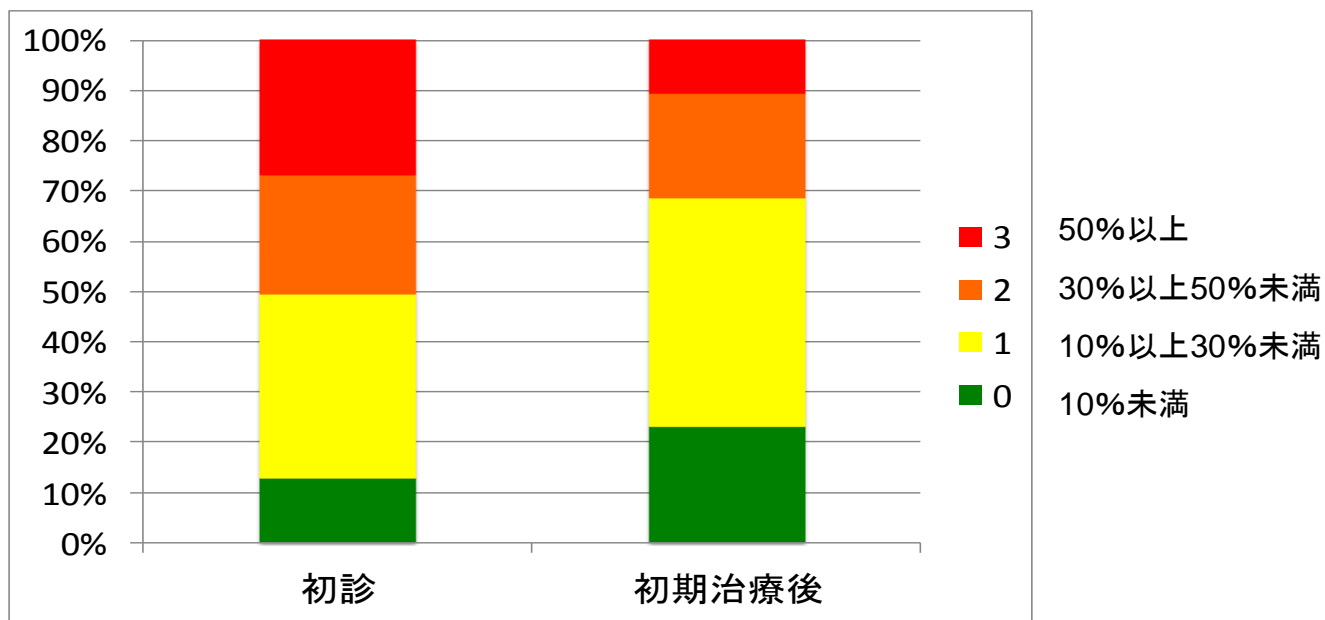
歯ぐきからの出血が減りました

歯周病の進行度を評価する重要な検査項目に、「歯ぐきからの出血」があります。加藤歯科に来院の患者さんで、歯周病の初期治療を受けた方の歯ぐきからの出血を調べました。スコア0が最も出血が少なく、スコア3が出血が最も多い状態を示します。

初診時（治療開始前）に比べて、歯周病の初期治療を行うことで歯ぐきからの出血が減った患者さんが多いことがわかりました。

歯周病の初期治療で治療効果を得られている事がわかりました。

歯ぐきからの出血



* 「初期治療」の用語解説があります。→[用語解説はこちら](#)

②歯周病メンテナンスの効果

歯を失う本数が減りました

国で調べた成人歯科保健のデータと加藤歯科のデータを組み合わせて、一年あたり一人年平均喪失歯数を比較してみました。40～59歳では、国のデータでも、症状のある時だけ歯科医院を受診している人（0.5本）にくらべ、定期的にメンテナンスを受けている人（0.12本）は歯を失う本数が4分の1であることが示されています。

また60歳以上に限って言うと6分の1になります。

加藤歯科のデータでは、国のデータよりさらに歯を失う本数が少ないという結果になりました。

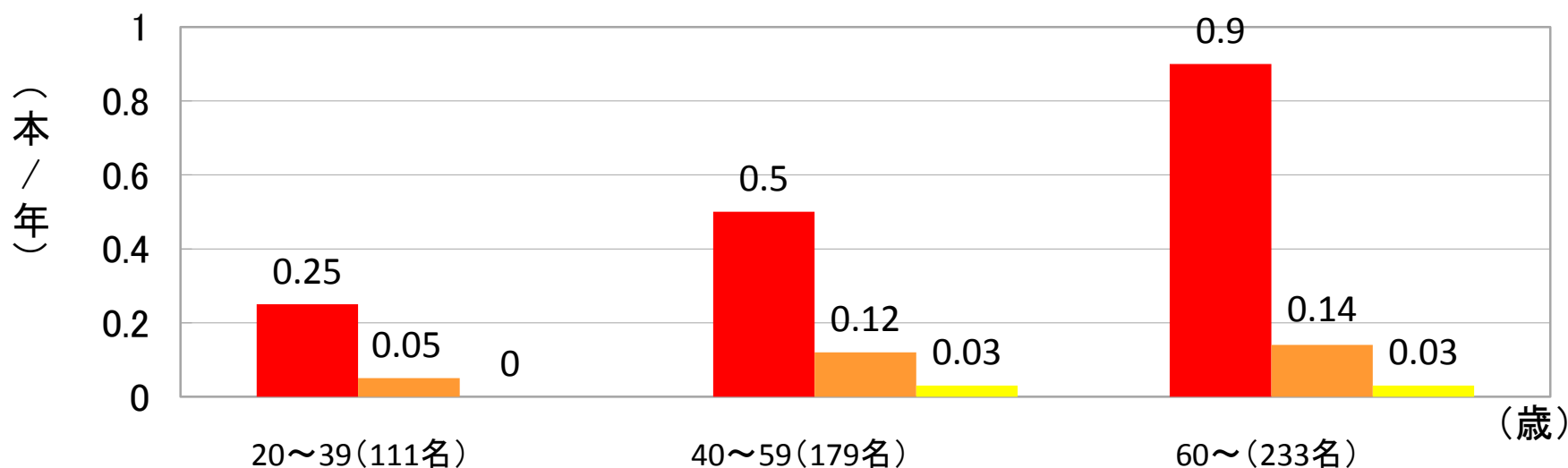
一年あたり一人平均喪失歯数

■ 症状のある時だけ歯科医院を受診（歯磨き指導なし） 成人歯科保健

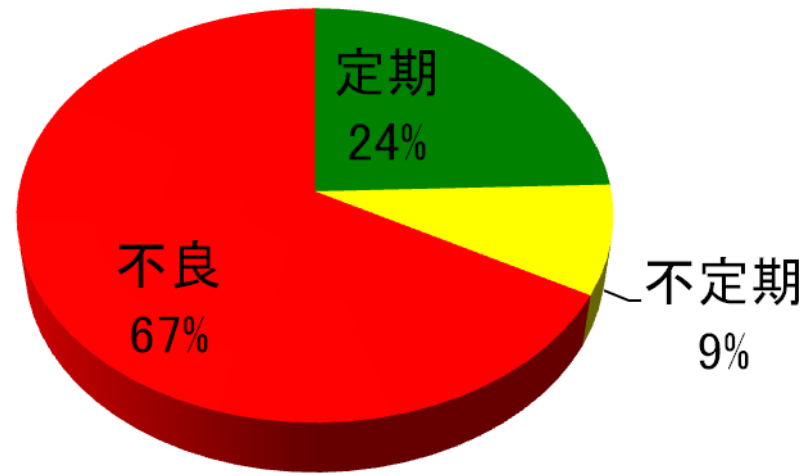
■ 定期的にメンテナンスを受けている（歯磨き指導あり） 成人歯科保健

■ 加藤歯科で定期的にメンテナンスを受けている

（歯磨き指導あり）（2010年12月1日～2012年2月29日、20歳以上523人対象）

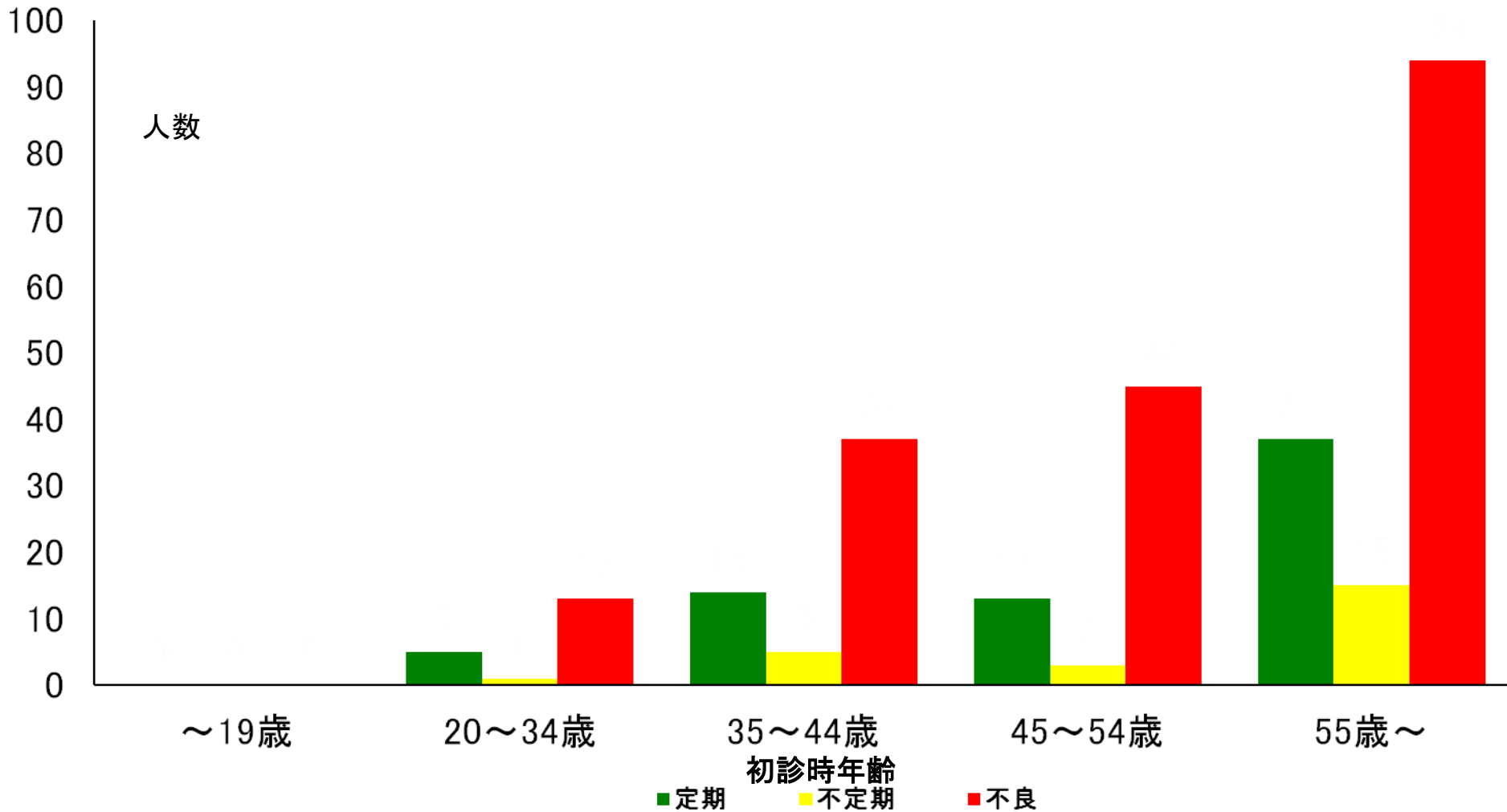


成人：来院状況



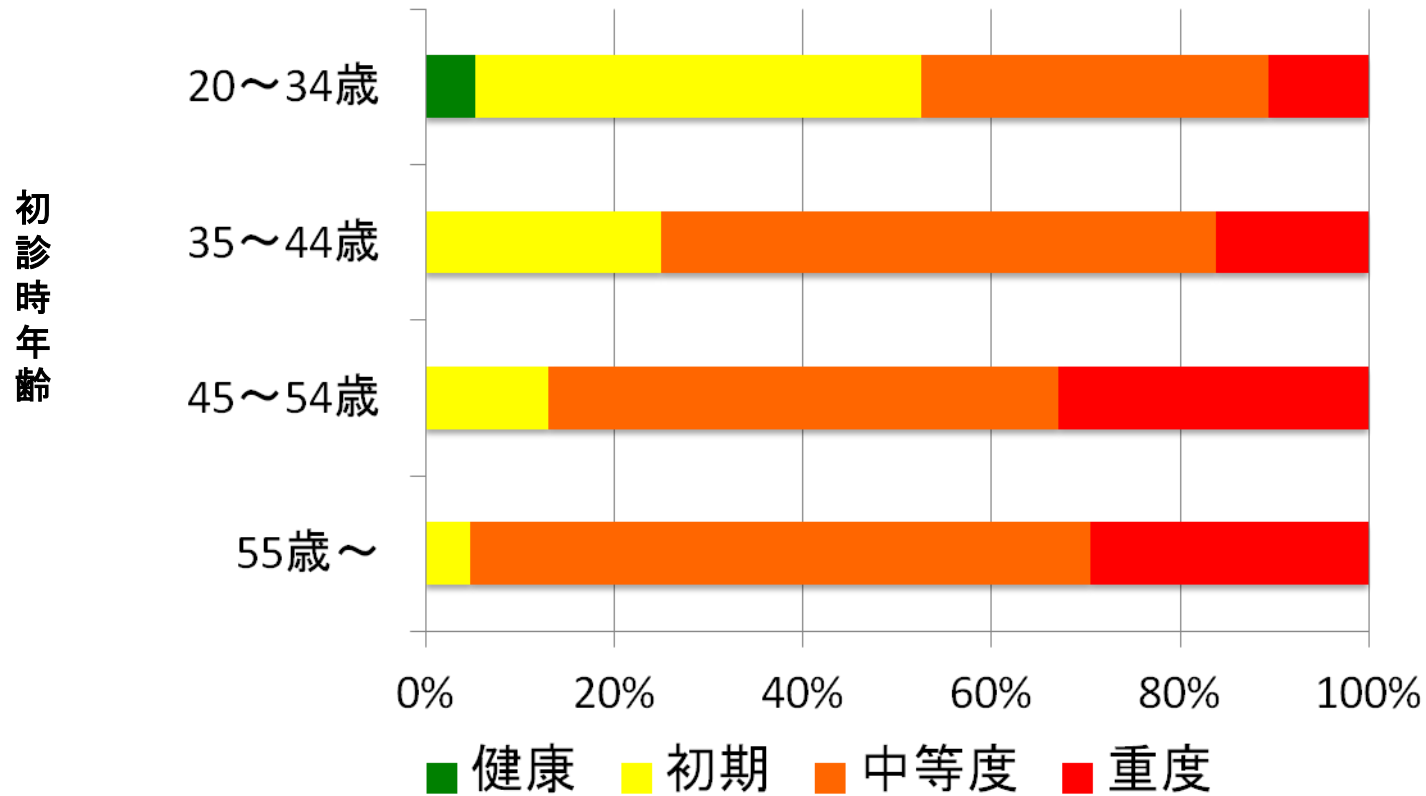
成人の282人のうち、定期的に来院している人は1/4でした。メンテナンスを途中で止める人が2/3と多いのは残念です。（「不定期」は、本来必要なメンテナンスの（回数の）3割以上に来院できなかった人、「不良」はメンテナンスを中断した人、引っ越しなど。）

初診時年齢の分布



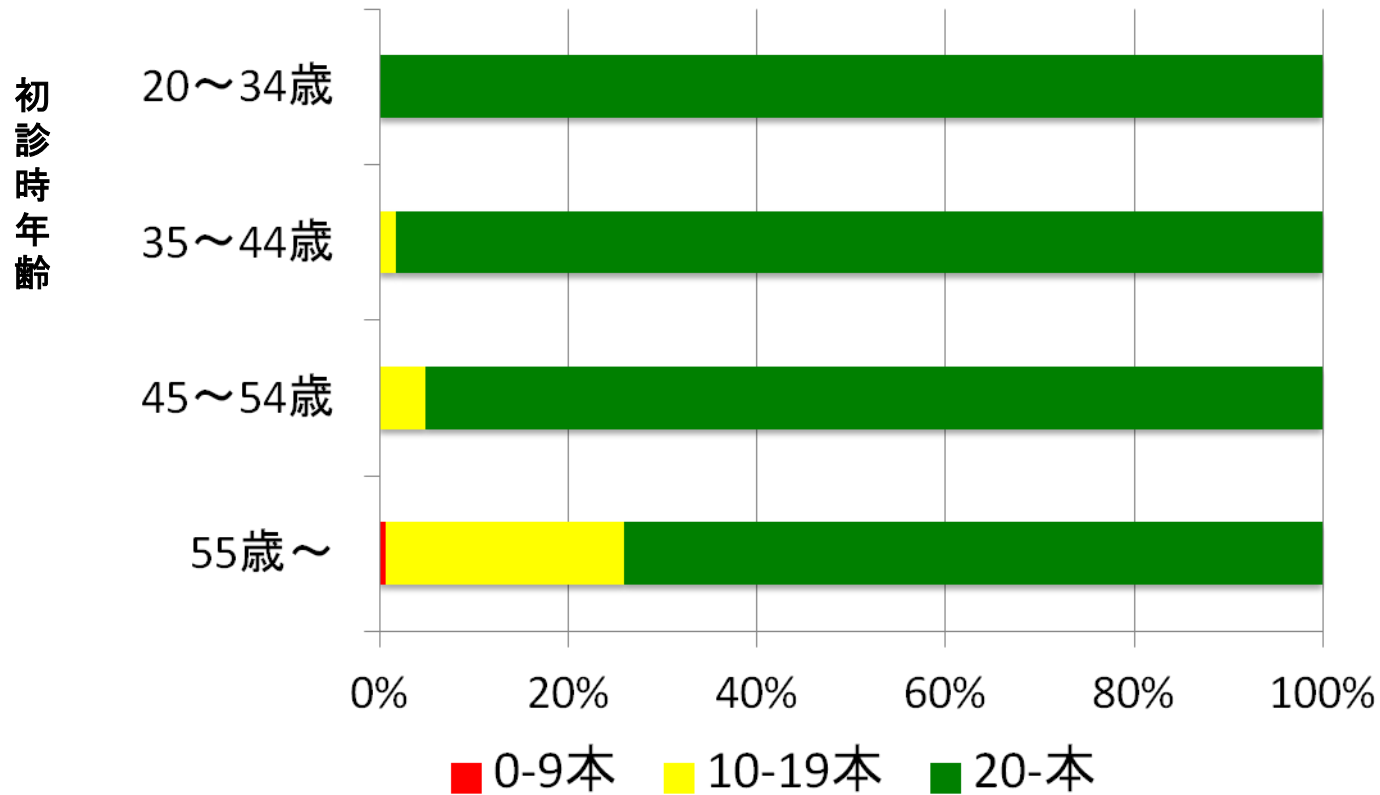
初診時の年齢の分布では、55歳以上の人が多かったです。早い時期からのメンテナンスをするとより効果があるので、もっと若い人もメンテナンスに来て欲しいですね。

初診時の歯周病進行度



初診時の歯周病の程度を 健康、初期、中等度、重度に分けて調べてみました。年齢とともに健康な人が減り、重度の人が増えています。また、20歳以上になるとほとんどの人が歯周病にかかっているのがわかります。

初診時の歯の数

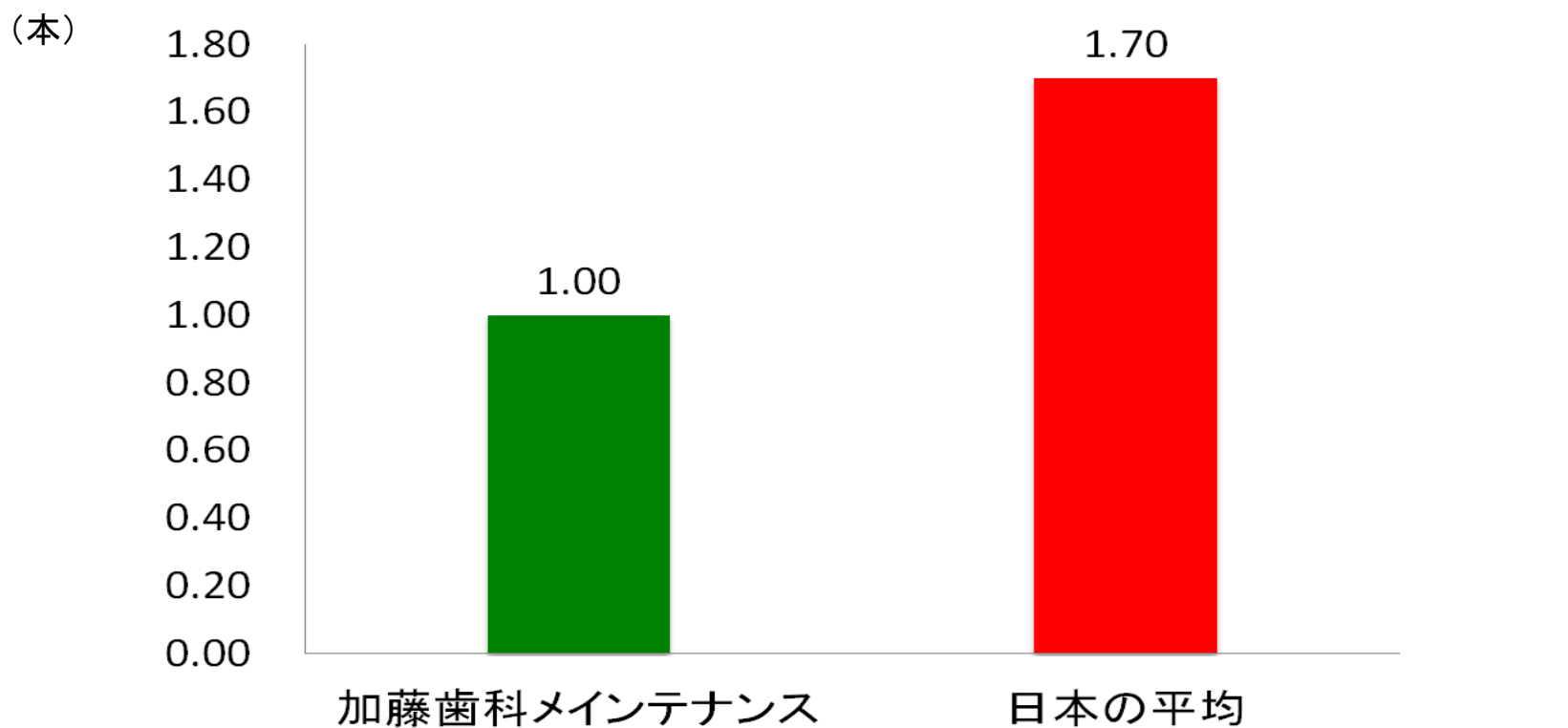


初診時の歯の数を0-9本、10-19本、20-28本に分けて調べました。すべて歯がある場合は28本です。55歳以上では、20本以上歯が残っている人が約3/4に減っています。

早期からのメンテナンスで最低20本は残すようにしましょう。

③子供のメンテナンスによるむし歯予防効果 虫歯の本数が減りました

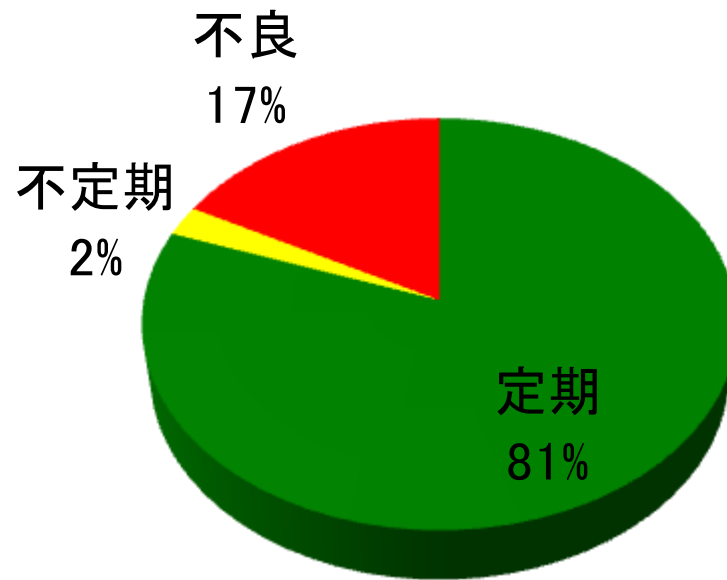
12歳のむし歯の経験数（むし歯の数と治療した歯の数の合計）



(H17年厚生労働省歯科疾患実態調査)

5歳以前からメンテナンスに来ている子どもの12歳のグループを、同じ年齢の日本の平均と比べてみると、むし歯の経験数（むし歯の数と治療した歯の数の合計）は、60%に抑えられていました。

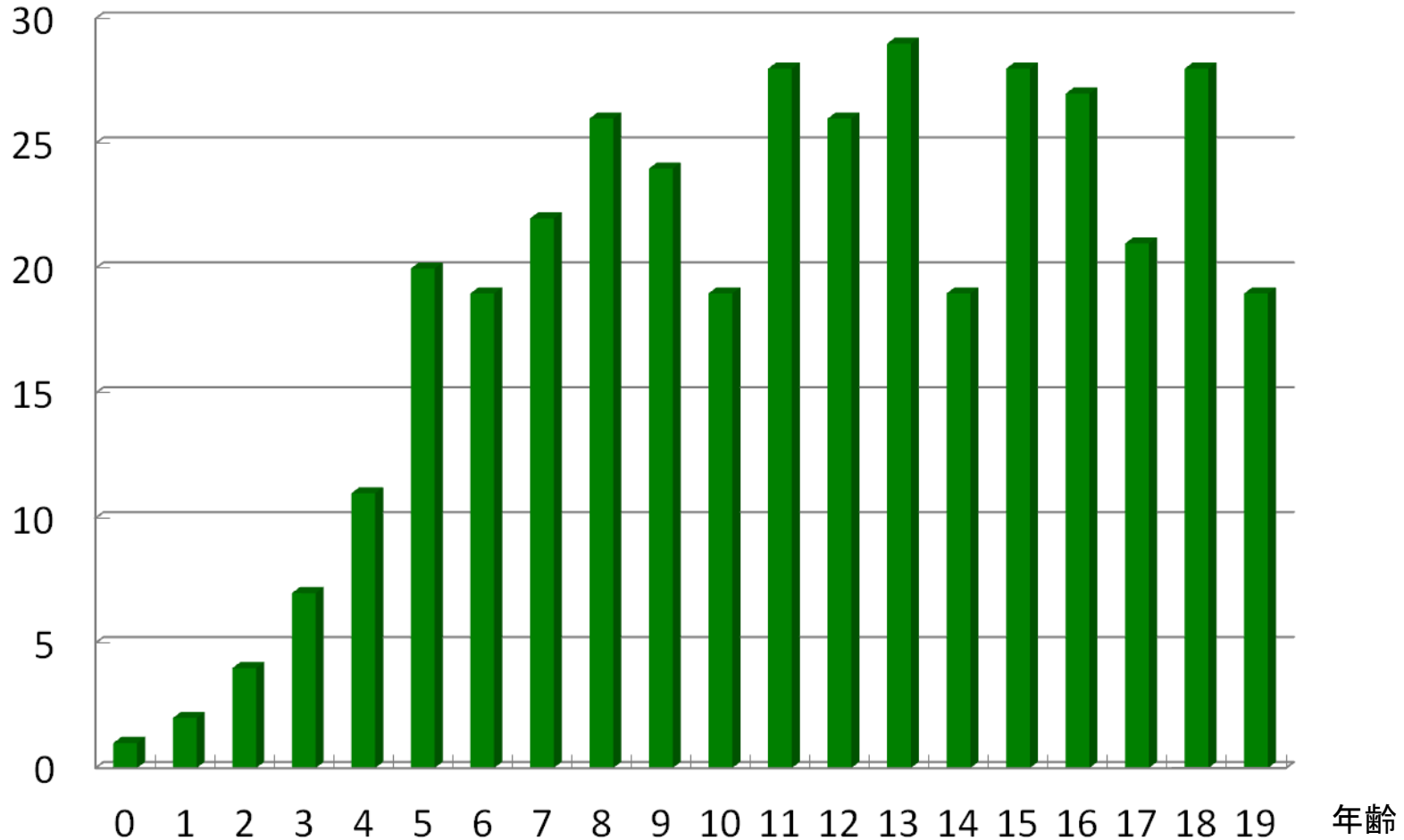
0~19歳: メインテナンス来院状況



未成年者の380人のうち、定期的に来院している人は、8割を超えていました。

子ども年齢分布

人数



未成年者380人の、初診時の年齢分布です。むし歯ができやすい中学生、高校生の来院数が多いのは素晴らしい結果です。